

IRR-50P

赤外線ワイヤレス マイクロホン レシーバー

IRH-20 (クリスタル・サーボ搭載)

赤外線ハンドヘルド ワイヤレス マイクロホン

IRD-30 / IRD-60

赤外線受光センサー

IRB-20 (クリスタル・サーボ搭載)

赤外線ベルトバック ワイヤレス マイクロホン

AMC-3

ワイヤレス マイク チャージャー

取扱説明書

この度はアツデンの製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読みになった後は、後日お役に立つことも有りますので、大切に保管して下さい。



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 危険 この表示の欄は「違法行為となる」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

⚠ この様な絵表示は、気をつけて頂きたい「注意喚起」内容です。

🚫 この様な絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

🔒 この様な絵表示は、必ず実行して頂きたい「強制」内容です。

- ・正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にかならず本書を良くお読みください。
- ・お読みになったあとは、必ず保存して下さい。

⚠ 警告

■万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



■万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜くこと

■電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。）

■電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。



■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

■この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないで下さい。火災の原因となります。



■この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺等屋外での使用は特にご注意ください。

■風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



■調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■この機器の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■電源プラグ（またはACアダプター）を抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ（またはACアダプター本体）を持って抜いてください。

■濡れた手で電源プラグ（またはACアダプター）を抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



■移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて行ってください。

■旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いてください。



電源プラグを
コンセントから抜くこと



■指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。



■電池を機器内に挿入する場合は、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、機器にある表示通りに入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



■長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ACアダプターを使用する機器のみ



■この機器には、専用のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

■ACアダプターは、布や布団をおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

⚠ ニッケル水素電池の取扱上のご注意

⚠ 注意

1) ご使用にあたっての注意事項：

- ① 電池はエネルギーを持っています。電池を正しく、安全にご使用頂く為に、使用前に必ず取扱説明書または注意書きをよくお読み下さい。読まずに誤使用されますと、畜電池を漏液、発熱、破裂させる原因となる場合があります。
- ② 電池の使用温度範囲は、次のとおりです。この使用範囲以外では、電池の性能や寿命を低下させたり発熱、漏液の原因となります。
機器使用時：-20℃～+60℃
- ③ 電池を、直射日光の強いところや、炎天下の車内、火の傍、ストーブの前面などの高温の場所で使用・放置しないで下さい。た電池を寒い戸外（0℃以下）や、冷えたまま（0℃以下）で充電しないで下さい。電池を漏液させたり、性能や寿命を低下させる原因となります。
- ④ この電池は、指定以外の機器との接続は危険です。使用機器の取扱説明書や注意書きをよくお読み下さい。

⚠ 警告

2) ご使用にあたっての警告事項：

- ① 電池を水や海水などにつけたり濡らさないで下さい。電池を発熱させたり錆の原因となります。
- ② 電池は、内部にアルカリ液を保持しています。この電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には皮膚に障害を起こす場合がありますので、直ちにきれいな水で洗い流して下さい。

⚠ 危険

3) ご使用にあたっての危険事項：

- ① ニッケル水素電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがあるので、こすらずにすぐにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- ② ニッケル水素電池は次のような取扱をすると、発熱、漏液、破裂の原因となりますので、必ずお守り下さい。

- a 火の中に投入したり、加熱しないこと。
- b 直接ハンダづけしないこと。
- c (+) 端子と (-) 端子とを針金等の金属で接続しないこと。また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと。
- d (+) 端子と (-) 端子とを逆にして充電したり、使用しないこと。
- e 分解したり・改造しないこと。
- f 強い衝撃を与えたり、投げつけないこと。
- g 充電は専用充電器を使用し、当社指定の充電条件を守ること。
- h 電源コンセントや自動車のシガレットライターのさし込み口等に直接接続しないこと。
- i 指定の機器以外に接続しないこと。



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力を

ご使用済みのニッケル水素電池は貴重な資源です。再利用いたしますので廃棄しないで、ニッケル水素充電電池リサイクル協力店にご持参ください。なお、(+) 端子または、(-) 端子に粘着テープ等を貼りつけて絶縁してからご持参ください。使用済みニッケル水素充電電池でも電気エネルギーが残っている場合がありますので、端子の絶縁をしておきませんと破裂や発熱の原因となる場合があります。リサイクルについて購入販売店及び販売元までお問い合わせください。

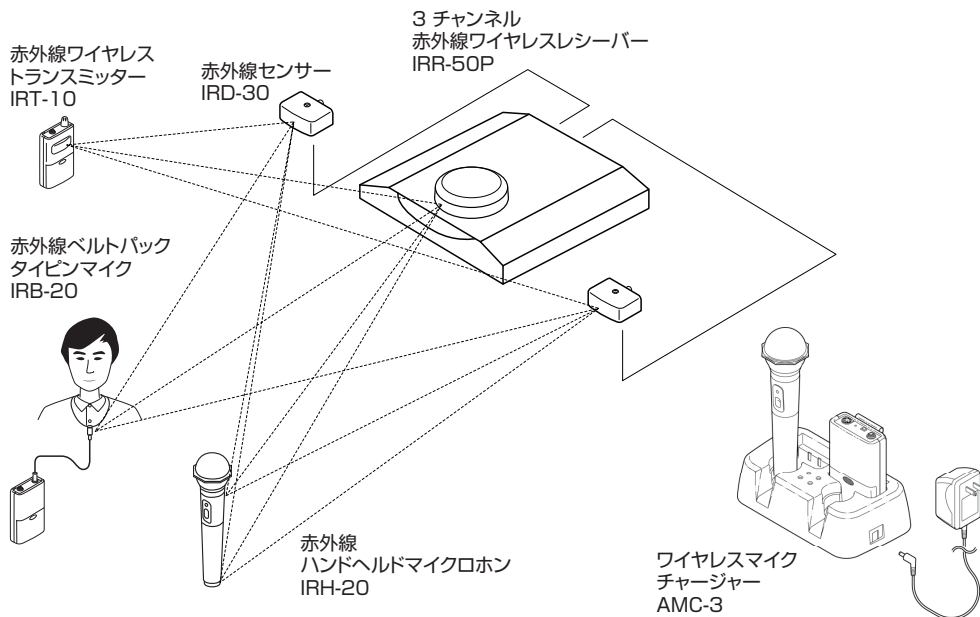
特徴

- ◆耳障りな雑音を抑える信号レベル抑圧方式。
- ◆赤外線により音声を送信する方式を採用していますので外来ノイズ等の影響を受けにくく、また同一建物の中で複数セットをご使用になっても心配ありません。
- ◆2本のワイヤレスマイクとIRT-10の1台が同時に使用できます。
- ◆4個のスピーカーを駆動するパワーアンプを内蔵。
- ◆フラットなデザインで天井にすっきり設置できます。
- ◆IRR-50Pは、受光センサー内蔵タイプですが、部屋の状態に合わせてより安定した受信ができるよう、外部受光センサーを最大3個まで接続することが可能です。受光角度上下左右約120度のIRD-30、約360度受光できるドームセンサーIRD-60の2種類用意しております。
- ◆マイクロホンはハンドヘルドタイプ (IRH-20) とベルトバックタイプ (IRB-20) の2種類用意しており、お客様の用途によりお選びいただけます。
- ◆IRH-20は上部と、下部の2段に発光部を設け、360°どの向きでも安定にご使用いただけるよう設計されています。また、安定して受信できる到達距離は、約20m(当社測定所における直線到達距離)です。
 - ・クリスタルサーボ方式の開発により周波数の高安定化・経年周波数ドリフトによる音質の劣化を排除。
 - ・使用スペースに合わせて発光強度を切り替える、Hi/Lo 切替スイッチを装備しております。付属のニッケル水素電池使用でHiの場合約6時間、Loの場合約8時間ご使用になれます。
 - ・送信チャンネルをそれぞれ、チャンネル1とチャンネル2まで、切り替えるスイッチを内蔵しています。チャンネル1のマイクをチャンネル2に、チャンネル2のマイクをチャンネル1に切り替えて使用することが可能です。

使用上の注意

- ◆本システムは赤外線を使って音声を送信している為、マイクと受光センサーの間を遮ると音がとぎれることがあります。また、他の赤外線方式のリモコン装置などの信号によって、影響を受け雑音が出る場合があります。受光センサーの設置は他のリモコン受光部の近くにならない様、特にご注意下さい。
- ◆マイクを同時に2本使用されるときは、チャンネル1とチャンネル2をご使用下さい。同じチャンネルのものを同時に使用すると、レシーバー側で正常な受信ができません。
- ◆マイクをスピーカーの近くでご使用になったり、不用意に音量を上げた場合、ハウリング（“ピー”等の大きな音の発生）が起こりやすくなりますので、マイクとスピーカーの距離を離したり、音量を適正な大きさに調整してご使用下さい。
- ◆マイクを落としたり、濡らしたりしないで下さい。故障の原因となります。
- ◆高温、多湿の場所及び太陽光線のあたる場所での使用や保管は避けて下さい。

システム構成例



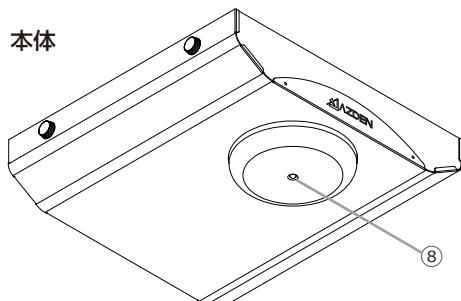
赤外線ワイヤレスシステムの取り付けの注意

センサーケーブルの種類	約 20mまでは 3C-2V (JIS 規格高周波同軸ケーブル) または 3C-FB(低損失タイプ) 約 100mまでは 5C-2V (JIS 規格高周波同軸ケーブル) または 5C-FB(低損失タイプ) 100m以上では長さにより 7C-2V 等を使用します。
複数のセンサーを使用するとき	センサーから受信機までのケーブル長は、すべて同じ長さにする。
混合器を使用する場合 (別売混合器) ケーブル配線	混合器からセンサー間も同じ長さにする。 天井にはエアコン動力電力線や、照明電力線が配線されています。 エアコン等インバーター機器のインバーターノイズ・照明の調光ノイズに受信波が妨害され、実質的に受信感度が落ちることがあります。センサーケーブルの配線やセンサーの取り付け位置は、これらの電力線から離して設置する。
照明等、他の光の妨害	室内照明光等が直接センサーに当たらないように設置する。 特に赤外線を多く含む光から妨害を受けます。 白熱電球、ハロゲン光、プラズマディスプレイ、および窓からの太陽光など。
スポットライト その他の妨害 室内配色	ワイヤレスマイク側も、強いハロゲン光などを受けると、送信赤外光に妨害を受けます。 受信機の電源をインバーター機器等の電源と同じコンセント (電源ライン) から取らない。 送信側の赤外線 LED とセンサーの光軸が一致すると、約 20mをカバーできますがワイヤレスマイクは移動しますので光軸の一致はまれです。 ワイヤレスマイクから放射状に発射される赤外光は、室内の壁・床・天井などに反射してセンサーに届きます。白色系の配色であれば赤外光を有効に反射します。 絨毯・黒系の壁などの場合は不向きな場合があります (カバー範囲が白色系より狭くなる) 反射光不足には、センサーの数を増やしカバーします。 反射の程度はレーザーポインターなどを使用して、照射光がよく見えれば、よく反射しています。確実にではありませんが目安になります。
天井が高い場合	IRD-60 は天井高さ約 3m程度で設計されています。 それ以上の高さの天井に取り付けた場合、センサー直下の位置で受信できない可能性があります。 IRD-30 の場合は取り付け例を参照
別売の混合器 (IRM-110) で IRR-50P に接続できるセンサーの台数	IRD-30 は 10 台まで、IRD-60 は 5 台まで、ドームセンサーは IRD-30 の半分です。

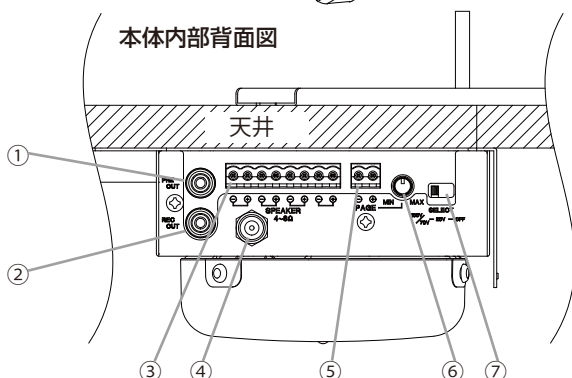
各部の名称とはたらき

IRR-50P

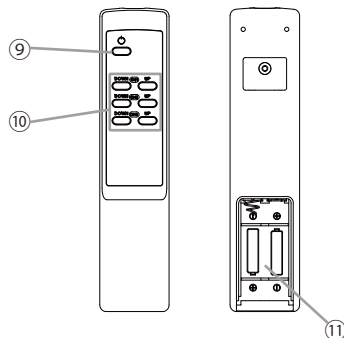
本体



本体内部背面図



リモコン



電池カバーを外した状態

本体

- ①PRE OUT
- ②REC OUT
- ③スピーカー出力
- ④赤外線受光センサー追加端子
- ⑤PAGE 入力
- ⑥PAGE 機能用ボリューム
- ⑦PAGE 機能用替えスイッチ
- ⑧インジケーター

ボリュームにより音量が可変します。外部アンプに接続してください。

音量は固定です。お手持ちの録音機器に接続してください。

4~8Ωのスピーカーを4台まで接続できます。

別売りの赤外線受光センサー IRD-30 または IRD-60 を接続できます。

PAGE 信号が入力されると、使用中の信号（1ch/2ch/3ch）がミュートされて PAGE 信号が出力されます。

PAGE 信号の音量を調節します。

100V/70V

: ハイインピーダンスアンプの出力を入力する際に選択します。

20V

: ローインピーダンスアンプの出力を入力する際に選択します。

OFF

: PAGE 入力を使用しない時に選択します。

スタンバイ時

赤点灯

電源 ON 時

緑点灯

リモコン操作時

緑点滅

リモコン

- ⑨パワースイッチ
- ⑩音量ボリューム
- ⑪電池ボックス

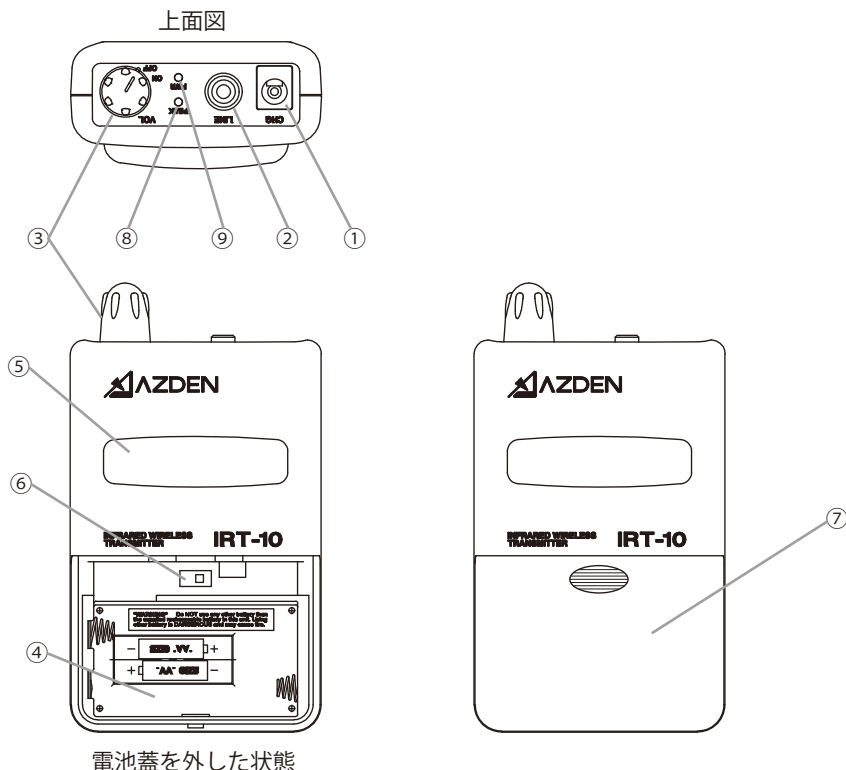
本体の電源を ON/OFF します。

各チャンネル（1ch/2ch/3ch）の音量を UP/DOWN します。

単 4 形乾電池 2 本を表示に従って入れてください。

各部の名称とはたらき

IRT-10



本体

①充電ジャック

専用ACアダプターを接続してください。約10時間後に満充電になりますので、充電後 AC アダプターを抜いてください。乾電池は充電しないでください。

②ライン入力

お手持ちのオーディオ機器から入力する事ができます。

③電源スイッチ、ライン入力ボリューム

時計回りで電源 ON、音量 UP

反時計回りで音量 DOWN、電源 OFF

④電池ボックス

ニッケル水素電池使用

⑤赤外線発光部

ここからライン入力赤外線として送信されますので、ご使用時は手などで覆わないようにしてください。

⑥Hi/Lo 切替スイッチ

発光強度の切替えができます。

受信機（センサー）との距離が短い場合、Lo ポジションにすると約 10 時間使用できます。（専用ニッケル水素電池、フル充電の場合）。Hi ポジションの場合は約8時間です。

⑦電池カパー

ライン入力のピークを表示します。

⑧ピーク表示 LED

電源スイッチを ON にすると緑に点灯します。

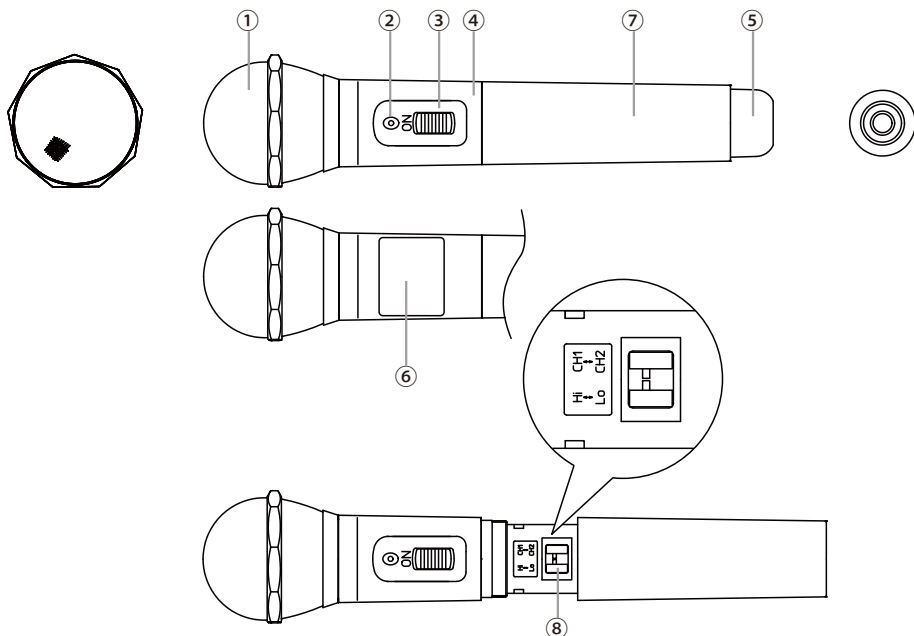
⑨電源表示 LED

電源スイッチを ON にしても点灯しない時は、充電してください。

ご使用中に LED が緑から赤に変わったら、電池の電圧が下がっていますので、充電してください。

各部の名称とはたらき

●赤外線ハンドヘルドマイクロホン IRH-20



①マイクロホンヘッド

②電源表示LED

電源スイッチをONにすると緑に点灯します。

電源スイッチをONにしても点灯しない時は、専用充電器（AMC-3）で充電して下さい。
ご使用中にLEDが緑から赤に変わったら、電池の電圧が下がっていますので、充電して下さい。

③電源スイッチ

スイッチをON側にすると動作状態になります。

④マイクケース

発振回路や補助発光部が内蔵されています。

⑤赤外線発光部

マイク音声を送信する部分です。ここから音声赤外線として送信されますので、ご使用時は手でおおわないようにして下さい。

⑥補助赤外線発光部

この部分からも赤外線が送信されますので、有効に活用するためには電源スイッチを手前に向け電池カバー部を持つことをお勧めします。

⑦電池カバー

専用ニッケル水素電池（充電式電池）を付属しております。電池カバーをはずし電池ケースの表示に従って電池を入れ専用充電器（AMC-3）で充電して下さい。（充電できる電池は、付属されている専用ニッケル水素電池のみです。他の電池は充電できません）

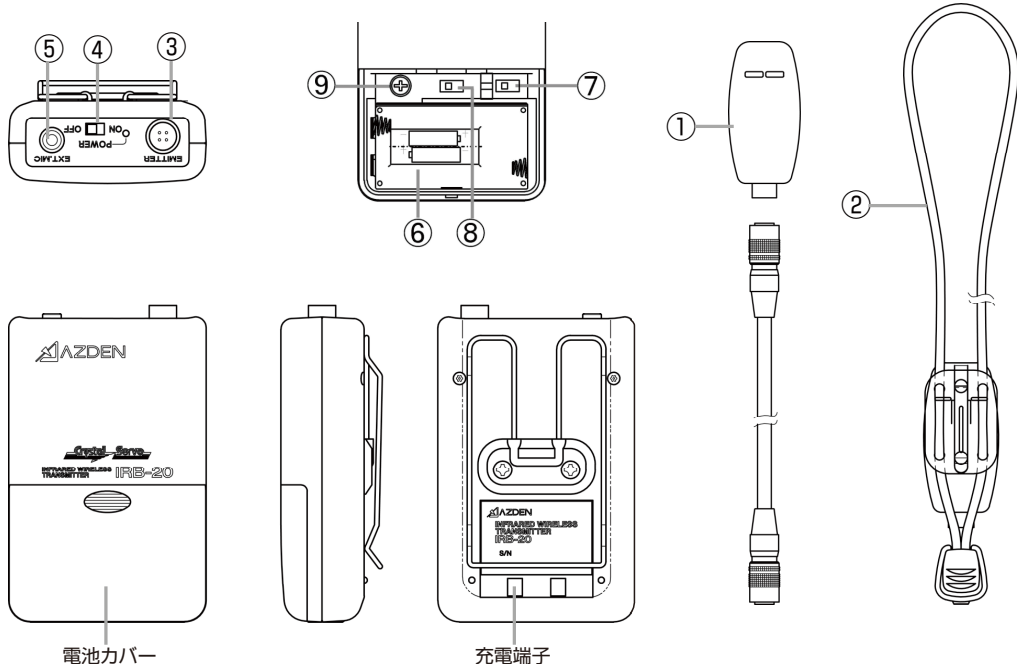
※乾電池を使用の場合は単3型乾電池を2本入れて下さい。（アルカリ電池推奨）

⑧チャンネル切替（CH 1/CH 2）、Hi/Lo 切替スイッチ

チャンネル 1、2の切り替え・発光強度の切り替えができます。ボールペンなどの先の細いもので切り替えてご使用下さい。通常は出荷時の設定でご使用ください。受信機（センサー）との距離が短い場合、Lo ポジションにすると約 8 時間使用できます。（専用ニッケル水素電池、フル充電の場合）。Hi ポジションの場合は約 6 時間です。

各部の名称とはたらき

●赤外線ベルトパック／タイピンマイク IRB-20



①タイピンマイク（マイクロホン及び発光器内蔵）

ネクタイ上部、襟元に装着して下さい。この部分で音声を拾い又赤外線が送信されます。手などで覆わないようにしてご使用下さい。

②ストラップ

着衣にタイピンマイクを装着できない場合、図のようにストラップに装着し、首から掛けて使用して下さい。

③マイクロホンジャック

タイピンマイクのプラグを差し込んで下さい。（マイクロホン内部の発光器も同時に接続されます。）

④電源スイッチ

ONにするとすぐ脇のインジケータが緑色に点灯します。電源スイッチをONにしても点灯しない時は、専用充電器（AMC-3）で充電して下さい。ご使用中にLEDが緑から赤に変わったら、電池の電圧が下がっていますので、充電して下さい。

⑤外部マイク入力

オプションのマイク（ネックマイク等）入力ジャック。（注）付属のタイピンマイクは発光器として使用することになります。

⑥電池

専用ニッケル水素電池（充電式電池）を付属しております。電池カバーをはずし電池ケースの表示に従って電池を入れ専用充電器（AMC-3）で充電して下さい。（充電できる電池は、付属されている専用ニッケル水素電池のみです。他の電池は充電できません）

※乾電池を使用の場合は単3型乾電池を2本入れて下さい。（アルカリ電池推奨）

⑦発光強度切替スイッチ

受信機（センサー）との距離が短い場合、Lo ポジションにすると約 10 時間使用できます。（専用ニッケル水素電池、フル充電の場合）。Hi ポジションの場合は約8時間で。

⑧チャンネル切替スイッチ（CH.1／CH.2）

チャンネル 1 と 2 の切替スイッチです。同時に2本のマイクをご使用の場合、1本はチャンネル1、他の1本はチャンネル2にセットして下さい。

⑨マイクゲイン調整

マイクを取替えた時とかマイク装着場所の違いによりマイクゲインが変わった時調整します。付属の調整ドライバーで調整して下さい。⑦、⑧、⑨ について電池ケースの裏側に図示しています。

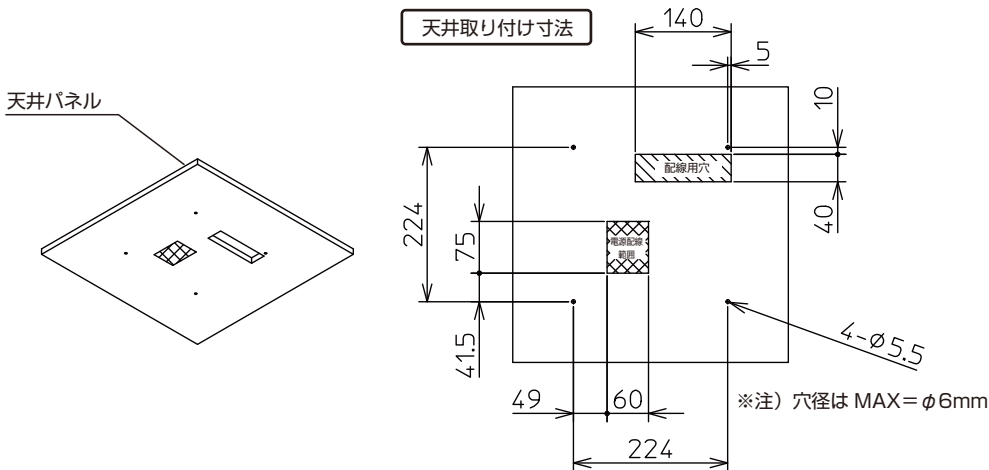
本体取り付け

IRR-50P

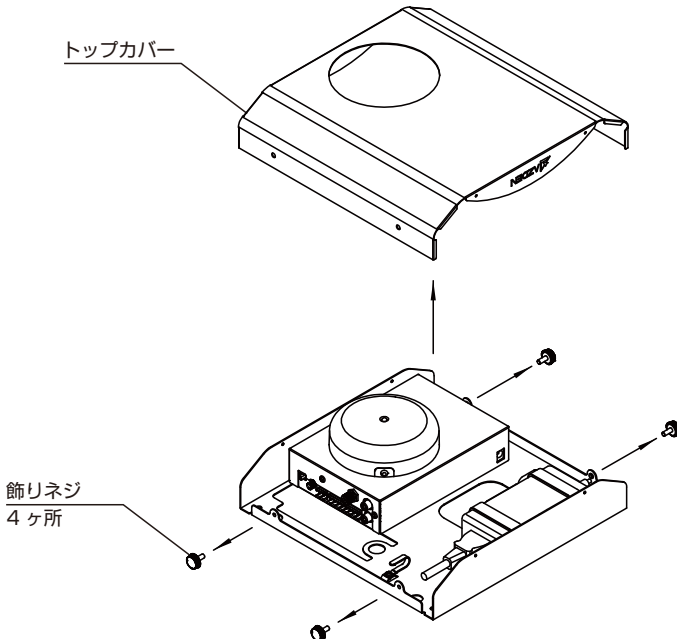
1. 天井のパネルを加工します。

本体取り付け用ネジ穴（４ヶ所）と配線用の穴（１ヶ所）を開ける

電源配線範囲はその範囲の中で穴を開けるか電源タップを取り付けか配線業者の判断で加工する



2. 本体側面の飾りネジを外し、トップカバーを外します。



本体取り付け（つづき）

IRR-50P

3. 天井パネルに本体を取り付け

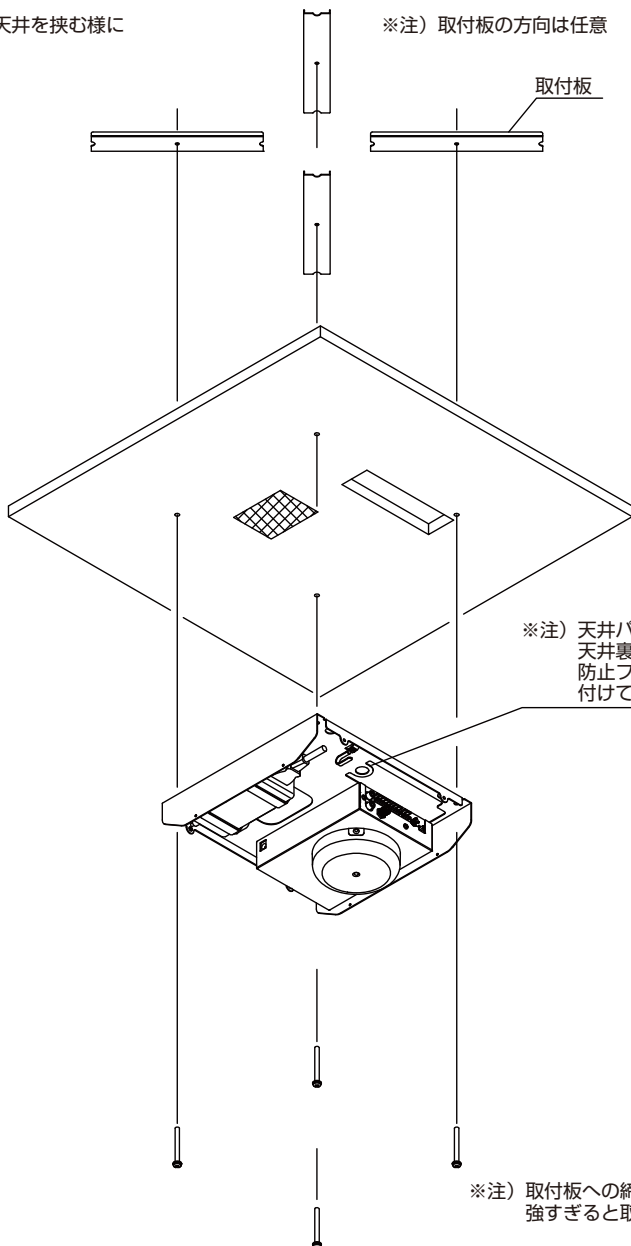
本体と取付板で天井を挟む様に
ネジで固定

※注）取付板の方向は任意

取付板

※注）天井パネルを天井に戻す際に
天井裏に固定されている落下
防止フックを本体に必ず取り
付けてください。

※注）取付板への締め付けトルクは $10\text{kgf}\cdot\text{cm}$
強すぎると取付板が変形します。



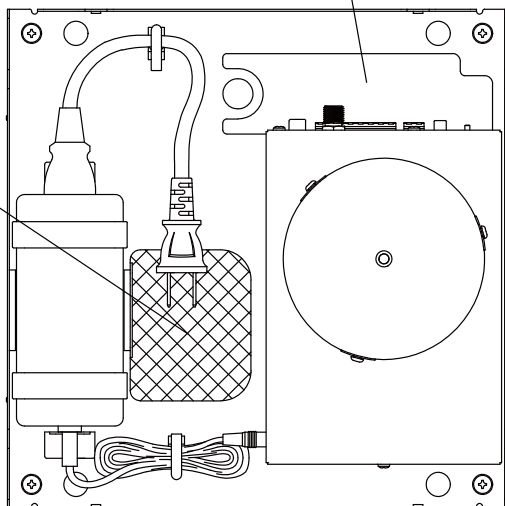
本体取り付け（つづき）

IRR-50P

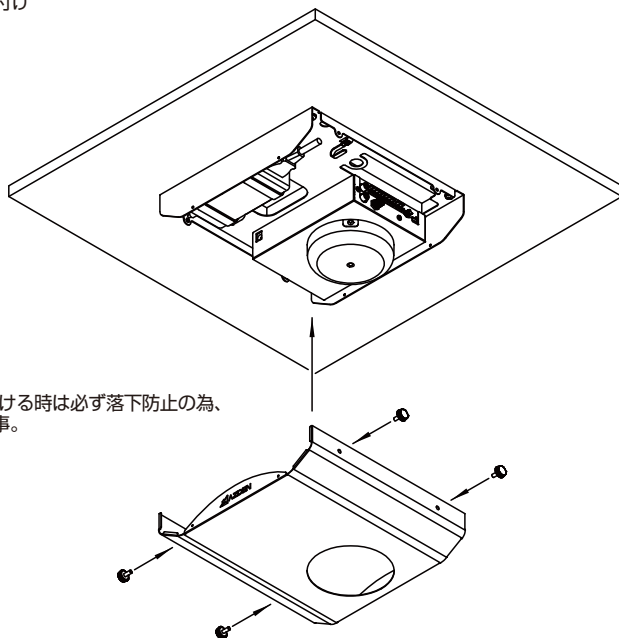
4. スピーカー等の配線は天井パネルの穴から天井裏へまわします。
5. 電源の配線は天井パネルにタップが付いている場合はそこに挿し込み、付いていない場合は穴を開けて天井うらにまわす。
6. 本体の高さが無いため、天井パネルに対して垂直に AC コードを挿す事が出来ないのて、横向きにさせる様に L 字や横挿入変換タップなどを用意する。

電源の配線は天井パネルの電源接続範囲内にコンセントの受け口などを取り付けそこに配線する。L 字や横出しのタップなどを使用の事。

スピーカーの配線は天井裏へまわします。



7. トップカバーを本体に取り付け



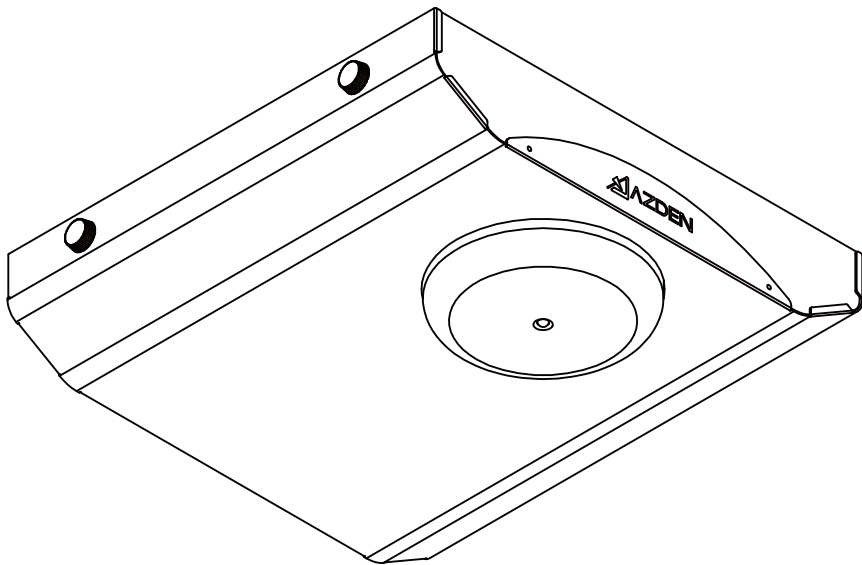
注 意

トップカバーを本体に取り付ける時は必ず落下防止の為、手で押さえてネジ止める事。

本体取り付け（つづき）

IRR-50P

完成

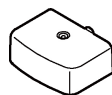


赤外線受光センサー取付

取り付け前に (IRD-30、IRD-60)

- 取付ブラケットは、取り付け場所の強度をよくご確認の上、木質の壁等に添付の木ネジでしっかりと固定して下さい。強度不足、取り付けの不備による落下等の事故に対する責任は、負いかねますのでご了承ください。

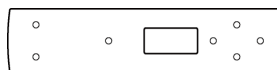
IRD-30



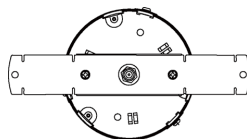
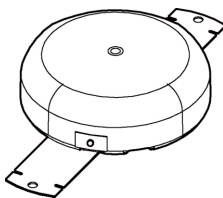
固定用ネジ2本
木ネジ4本



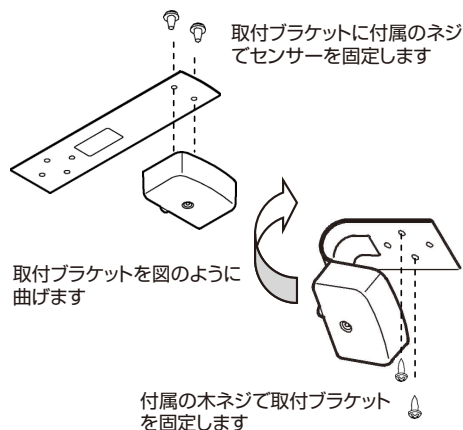
取付ブラケット



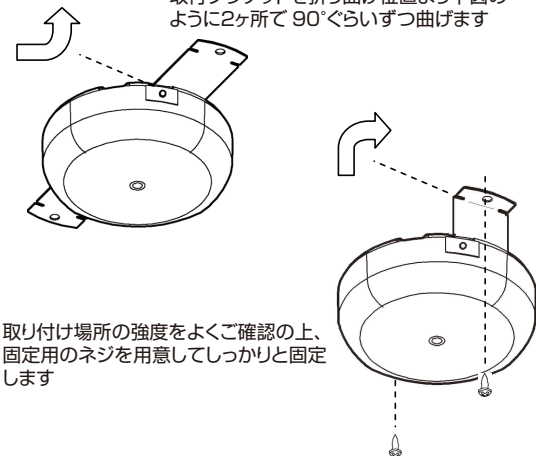
IRD-60



- ① 受光センサーの取付け位置を決め、木ネジを使ってしっかりと固定します。



取付ブラケットを折り曲げ位置より下図のように2ヶ所で90°ぐらいずつ曲げます

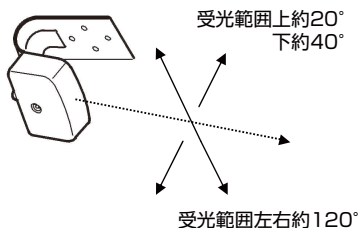


- ② ご使用状況に合わせて受光センサーの角度を調整します。

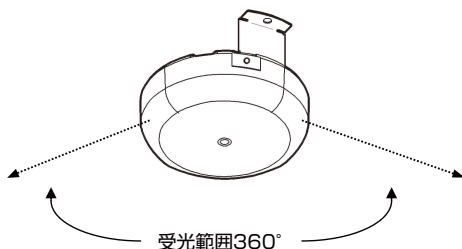
- マイクの発光部と受光センサーは、真直ぐに向き合っていた方が受光特性が良くなります。その為、本ブラケットは受光センサーの取付状況、マイクの使用状況に合わせて受光センサーの取付角度を容易に変えられるようになっています。

IRD-30、IRD-60 設置例

- 受光センサーの受光可能範囲 (IRD-30)
受光可能範囲は正面 上約20°下約40°左右約120°の放射状です。



- 受光センサーの受光可能範囲 (IRD-60)
受光可能範囲は左右約360°です。



受光センサーは接続ケーブルが付属しておりません。SSC-FB等、同軸ケーブルをご用ください。

操作のしかた

IRR-50P

※本体が既に設置されており、配線まで接続されている状態とします。

本体

- 1) 本体にアダプターを接続します。
ドームセンサー中央のLEDが【赤色】に点灯します。
この状態がスタンバイになります。
* アダプターを本体へ接続後、7秒間はリモコンによる操作を受け付けられない設定になっています。
- 2) リモコンにて、電源を入れる。
ドームセンサー中央のLEDが【緑色】に点灯します。
- 3) 送信機からの信号を受け取れる状態になります。
* 本体のボリュームの出荷位置は、中央より数dB低いところに設定しています。
* アダプターを抜かない限り、電源OFF直前のボリューム位置は記憶され、次の電源投入時まで保持されます。
- 4) リモコンにて電源を切ります。
スタンバイ状態になり、ドームセンサー中央のLEDが【赤色】に点灯します。

リモコンの使用法

- 1) リモコンでは、本体の電源をON/OFF、
各チャンネル(1ch/2ch/3ch)の音量をUP/DOWNすることができます。
- 2) リモコンのボリュームを出荷位置に戻すには、下記の操作を行うことができます。
1ch : 1ch【+】 1ch【-】 POWER 3つのスイッチを同時押し
2ch : 2ch【+】 2ch【-】 POWER 3つのスイッチを同時押し
3ch : 3ch【+】 3ch【-】 POWER 3つのスイッチを同時押し
* IRR-20についているボリュームも使用することも可能です。
その際、ボリュームはマスターボリュームとして動作します。

PAGE機能について

PAGE信号は、他すべての入力に対して優先され出力されます。

- 1) 電源ON時からのPAGE信号入力
本体の電源がONの状態時、PAGE信号が入力されると、使用中の信号(1ch/2ch/3ch)がMUTEされて、PAGE信号が出力されます。
その後、PAGE信号が無くなると、数秒後にMUTEが解除されて元の状態に戻ります。
- 2) スタンバイ時からのPAGE信号入力
本体がスタンバイ状態時、PAGE信号が入力されると、自動で本体の電源がONになります。
PAGE信号が入力されている間は、他の信号(1ch/2ch/3ch)がMUTEされ、また、リモコンによる操作を受け付けません。
PAGE信号の入力が無くなると、数秒後にスタンバイ状態に戻ります。

* PAGE入力を使用する時は、入力する信号に応じて、本体のSELECTスイッチを選択して下さい。

<SELECTスイッチ>

- | | | |
|-----------|---|------------------------------|
| ・100V/70V | : | ハイインピーダンスアンプの出力を入力する際に選択します。 |
| ・20V | : | ローインピーダンスアンプの出力を入力する際に選択します。 |
| ・OFF | : | PAGE入力を使用しない時に選択します。 |

* PAGE入力を使用する時は、入力する信号に応じて、PAGEボリュームを調整して、使用する本体の出力端(SP/PREOUT/RECOUT)のレベルを設定・確認して下さい。

PREOUT・RECOUTについて

- PREOUT : 外部アンプ等への出力端子です。
出力信号レベルは、リモコンによるボリューム操作に連動します。
- RECOUT : 外部の録音機器等への出力端子です。
出力信号レベルは、リモコンによるボリューム操作に連動しません。
- * PREOUT・RECOUT端子を使用する際は、機器を接続し、レベル等の動作を確認した上で使用して下さい。

接続するスピーカー

- 1) 接続できるスピーカーは4Ω×4です。
アンプの故障の原因となり危険ですので、4Ωより小さなインピーダンスのスピーカーは接続しないで下さい。

操作のしかた (つづき)

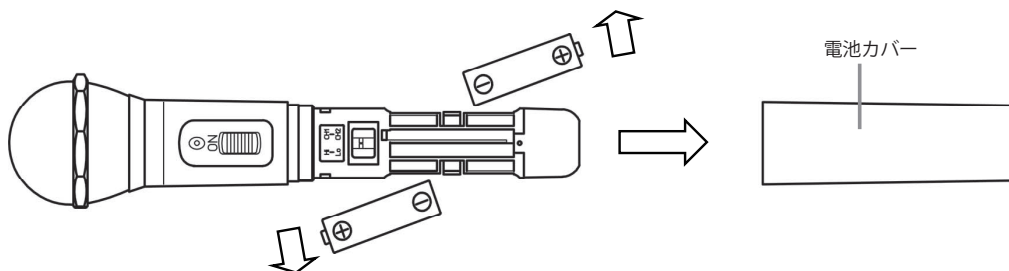
- ① レシーバーに受光センサー（オプション）又は、スピーカー端子またはアンプの入力端子にレシーバーの出力が正しく接続されていることを確認します。
- ② レシーバー及びアンプ等他の機器の電源を入れます。
- ③ ワイヤレスマイク / トランスミッターの電源スイッチをONにします。マイク / トランスミッターの電源表示LEDが点灯します。
- ④ ワイヤレスマイク / トランスミッターに音声を入れ、レシーバーの音量つまみにて音量を調節します。
- ⑤ ご使用後は、ワイヤレスマイク / トランスミッターの電源スイッチを元の位置に戻して下さい。電源がOFFになり、電池の消耗を防ぎます。

ご注意

1. 赤外線は、ワイヤレスマイク / トランスミッターの発光部より送信されます。発光部及び受光センサーの表面を手で覆うと受信不良となります。また、表面が汚れている場合も受信不良となりますので、汚れた場合は柔らかい布で乾拭きするか、水に濡らした布をよく絞って拭いて下さい。
2. 本システムは、赤外線を利用していますのでワイヤレスマイク / トランスミッターと受光センサーの間に障害物があったり、人が横切ったりすると、雑音が出たり、音が途切れたりすることがあります。また、太陽光線、スポットライト等の強い光源のそばでは影響を受け、雑音、音切れを生ずることがあります。

マイクロホン電池交換のしかた

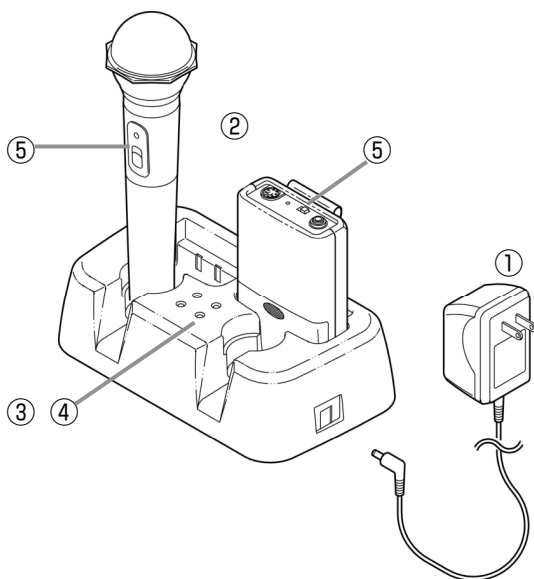
IRH-20 電池カバーを図のように反時計方向に廻して下側に引いて外して下さい。
電池を取り出すときは電池の+側から引き出して下さい。



充電のしかた

- ① AC アダプターをコンセントに差し込んでワイヤレスマイク / トランスミッターチャージャー（AMC-3）に接続します。
- ② チャージャー本体にマイク / トランスミッターを静かに差し込みます。
- ③ 充電中はチャージャーの表示 LED が赤く点灯します。
- ④ マイク / トランスミッターを差し込んでから約 10 時間後チャージャーの表示 LED が緑色に点灯し充電を終了します。
- ⑤ 充電中マイク / トランスミッターのスイッチは、OFF である事を必ず確認願います。

- 充電できる電池は、付属されている専用ニッケル水素電池のみです。他の電池は充電できません。
- 充電中に一時的にマイク / トランスミッターを取り出し、再充電するとき LED が赤から緑に変わる時間は 10 時間以上になる事が有ります。



仕 様

IRR-50P

形式	赤外線ワイヤレスマイク用レシーバー
受信周波数	チャンネル1 2.06MHz チャンネル2 2.56MHz チャンネル3 2.80MHz スーパーヘテロダイン
受信方式	周波数変調
変調方式	3チャンネル
受信チャンネル数	クリスタル発振
局部発振方式	38.4kHz
トーンスケルチ	25 ~ 10,000Hz
周波数特性	1%以下
歪率	15V/4A
電源電圧 外部電源	28mA (スタンバイ時) / 560mA (1/8W 出力時)
消費電流	250 (W) × 50 (H) × 250 (D)mm
外形寸法	(突起物を除く)
質量	約 2.2kg
◆付属品	取扱説明書 / 保証書 (本書) IRT-10 取付ブラケット リモコン 単4形乾電池 2本

IRH-20

◆一般特性	
電源	DC2.4V (付属の専用ニッケル水素電池 X2) / (単3乾電池タイプ 1.5V × 2) アルカリ乾電池推奨
外形寸法	58 × 240mm (直径 × 長さ ; 突起物を除く)
質量	約 300g (ニッケル水素電池含)
◆マイク性能	
使用マイクロホン	単一指向性ダイナミックマイクロホン
平均入力音圧レベル	94dB SPL (ボーカル用)
周波数特性	50 ~ 10,000Hz
コンプレッサ特性	1/2 対数圧縮
歪率	1%以下
◆無線機部特性	
赤外線波長	870nm
変調方式	周波数変調
搬送周波数	
チャンネル1	2.06MHz
チャンネル2	2.56MHz
トーン信号	38.4kHz
赤外線到達距離	20m ※
電池寿命	Lo ポジション 8時間以上 (専用ニッケル水素電池) Hi ポジション 6時間以上 (専用ニッケル水素電池)
◆付属品	専用ニッケル水素電池 (充電式電池)

※ 当社内測定における直線到達距離

IRD-30/IRD-60

◆一般特性	
電源仕様	DC20V 10mA (IRD-30) / 15mA (IRD-60) IRR-50P から供給
外形寸法	72.5(W) × 27(H) × 50(D)mm (IRD-30) φ99 × 30(H) (IRD-60) (突起物を除く)
質量	約 90g (IRD-30) / 約 150g (IRD-60)
◆付属品	取付ブラケット、取付ネジ、F型結線コネクター

仕 様

IRB-20

◆一般特性

電源	DC2.4V (付属の専用ニッケル水素電池 X 2) / (単3乾電池 1.5V × 2) アルカリ乾電池推奨
外形寸法	100×64×27mm(突起物を除く)
質量	132g (トランスミッター・ニッケル水素電池含) 38g (タイピンマイク)

◆マイク性能

使用マイクロホン	エレクトレットコンデンサーマイクロホン
平均入力音圧	-50dB
周波数特性	50 ~ 10,000Hz
コンプレッサ特性	1/2対数圧縮
歪率	1% 以下

◆無線機部特性

赤外線波長	870nm
変調方式	周波数変調
搬送周波数	チャンネル1 2.06MHz チャンネル2 2.56MHz トーン信号 38.4kHz

赤外線到達距離

電池寿命	20m ※ Lo ポジション 10 時間以上 (専用ニッケル水素電池) Hi ポジション 8 時間以上 (専用ニッケル水素電池)
------	--

◆付属品

専用ニッケル水素電池 (充電式電池)
調整用ドライバー

※ 当社内測定における直線到達距離

AMC-3

◆電源仕様

AC アダプター外付け方式	
入力	AC100V, 50/60Hz
出力	DC6V, 600mA
消費電力	10VA
外形寸法	176 (W) × 50 (H) × 100 (D)mm (突起物を除く)

質量

約 500g

標準充電時間

約 10 時間

◆付属品

AC アダプター

仕 様

IRT-10

◆一般特性

電源	DC2.4V (付属の専用ニッケル水素電池 X 2) / (単3乾電池 1.5V×2) アルカリ乾電池推奨
外形寸法	100×64×27mm(突起物を除く)
質量	150g (ニッケル水素電池含)
周波数特性	50 ~ 10,000Hz
コンプレッサ特性	1/2 対数圧縮
歪率	1% 以下

◆無線機部特性

赤外線波長	870nm
変調方式	周波数変調
搬送周波数	チャンネル 3 2.80MHz トーン信号 38.4kHz
赤外線到達距離	20m ※
電池寿命	Lo ポジション 10 時間以上 (専用ニッケル水素電池) Hi ポジション 8 時間以上 (専用ニッケル水素電池) 専用ニッケル水素電池 (充電式電池)

◆付属品

※ 当社内測定における直線到達距離

保証書

本書は下記の保証規定により、無料修理を行なう事をお約束するものです

機種名		
IRR-50P / IRH-20 / IRB-20		
お客様	ご住所	〒 ☎

e-mail		
	お名前	
保証期間		一 年
取扱販売店	住 所	
	店 名	
お 買 い 上 げ 日 年 月 日		

保証規定

保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理致します。

次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。

- ①水害、落雷、異常電圧その他天災地変による故障
- ②お買い上げ後の輸送、落下等による事故および損傷
- ③本保証書のご提示がない場合
- ④本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合は、修理をお引き受けできません。

不当な修理および改造をした場合は、修理をお引き受けできません。

修理品の送料に関しては、本保証に含まれておりませんので予めご了承下さい。

アリデフ 株式会社

<http://www.azden.co.jp>
e-mail:sales@azden.co.jp

〒181-8533 東京都三鷹市上連雀 1 丁目 12 番 17 号
営業部 TEL 0422-55-5115 FAX 0422-55-0131

PRINTED IN JAPAN 060-36010C01